

国語 第2学年 絵を見て かこう / つづけて みよう

授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

絵から想像した事柄を確かめ、友達に伝わる短い文章にする。学習の記録は、絵から選んだ様子を表す文と友達の感想である。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕(1)エ	エ 第1学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。
〔第1学年及び第2学年〕B書くこと(1)ア	ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。
〔第1学年及び第2学年〕B書くこと(1)オ	オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。

単元の目標

第1学年に配当されている漢字を文章の中で使うことができる。（〔知識及び技能〕(1)エ）

想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（B(1)ア）

絵から想像した事柄を確かめ、友達に伝わる短い文章にする学習の中で、言葉への関心をもち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①第1学年に配当されている漢字を文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）	①「書くこと」において、想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	①絵から想像した事柄を確かめ、友達に伝わる短い文章にする学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全1時間（書1）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1 （本時）	○誰に何を伝えるかを確認め、書く材料や最初の文を出す。 教科書の絵は手元で見て、描かれていることと想像したことを分ける。中心を決めて既習漢字で短い文章を書き、感想を読み合う。読み手が受け取った意味を確認め、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。	思①（発言・活動中の記録・作成物）



本時の案

本時の目標：想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（B(1)ア）

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 （ 分）	誰に何を伝えるかを確かめ、書く材料や最初の文を出す。 ○「絵のどの出来事を文章で知らせたいですか」 【めあて】絵から想像した事柄を確かめ、友達に伝わる短い文章にする。 〈予想される児童の反応〉 ・同じ絵でも選んだ人が違うと文が違った。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 （ 分）	○「絵のどの出来事を文章で知らせたいですか」 教科書の絵は手元で見て、描かれていることと想像したことを分ける。中心を決めて既習漢字で短い文章を書き、感想を読み合う。 読み手が受け取った意味を確かめ、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。 〈予想される児童の反応〉 ・同じ絵でも選んだ人が違うと文が違った。 ・だれが何をしているかを書きたい。	絵は手元の教科書で参照し、場所・人物・動きに指を置いて確かめる。想像して足すことと絵から分かることを分ける。 想定する難しさ：絵のすべてを列挙して中心が曖昧になる。 評価では、想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしているかを、絵から選んだ様子を表す文と友達の感想と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎思① 想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（発言・活動中の記録・作成物）
まとめ （ 分）	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 絵から選んだ様子を表す文と友達の感想を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・だれが何をしているかを書きたい。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「絵のどの出来事を文章で知らせたいですか」。中央は、絵から選んだ様子を表す文と友達の感想に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

絵のすべてを列挙して中心が曖昧になる。この難しさには、絵は手元の教科書で参照し、場所・人物・動きに指を置いて確かめる。想像して足すことと絵から分かることを分ける。評価では、想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしているかを、絵から選んだ様子を表す文と友達の感想と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録
絵から選んだ様子を表す文と友達の感想を残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。

比べて確かめたこと
最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（2年）「2年上巻」8行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/1916261d-d388-44ac-af42-3aa7e13b6b11/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。
（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。
（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）
AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo) https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

